

2019年度 交換留学 留学報告書

国際交流学科 3年

留学先：台湾 輔仁大学

留学期間：2019年2月～2019年6月

私はこの台湾での留学の期間に大切なことを2つ学びました。1つは間違えることを恐れないこと、もう1つは話し合うことです。昨年の北京での語学研修の際、言い間違いを恐れるがあまりうまく自分の言いたいことを伝えられなかった経験があり、今回の留学でその点を克服して帰ってきたいと思っていました。しかし、実際に現地で暮らしていく中で、これは伝わるだろうと思って話した文章がうまく伝わらなかったり、授業のグループワークの時も思うように言葉が出てこなかったりしたことから、自分のこれまでの中国語の勉強が意味のないことではなかったのかと落ち込むことが多々ありました。ですが、私は一学期間(4か月)の留学ととても短い留学だったので、落ち込み続けてもキリがないと割り切って、言語交換の開始や留学生イベントの積極的参加などをして、気持ちを入れ替えました。

元々人見知りだった私でしたが、留学中に会った友達が有難いことに皆優しくだったため、友達からさらに交友関係が広がっていった、私と同じように中国語の勉強を頑張る留学生の友達、日本語の勉強を頑張る台湾人の友達など、日本にいたら想像できなかったくらい様々なルーツをもつ友達ができました。4か月の留学のために、中国語の力の伸びを感じる前に帰国となりましたが、留学中に得られた交友関係はかけがえのないものだと感じています。

ここまで良かったと感じる経験を話しましたが、勿論ずっとうまくいっていたわけではありません。私がもっと早く取り組んでおけばと思ったことは、素のルームメイトとの話し合いです。私の部屋は日本人2人と中国人2人の構成でした。基本的に仲は良かったと思いますが、文化の違いや生活習慣の違いから溝を感じることがあり、特に音に関してはピリピリすることが多く、お互いもやもやする時期もありました。ここで後悔している点は、気になったら早めに、丁寧に気になるところを伝えることができている点、もっとお互いのことを理解しあえていたかもしれないということです。変に気を使って我慢を続けた結果、少しイライラしながら気になるところを伝えて、やつと話し合いをしたことがありました。最終的に状況は改善したので、もっと早いうちから話していなかったことを後悔しています。これから留学に行く方で寮に住まれる方は、早め早めの話し合いで少しでももやもやする時間を減らして欲しいと思います。

最後に、今後長い人生の中で時間を割いて留学や海外生活することはなかなか容易ではないと思います。ですので、少しでも留学経験をしてみたいと思う方は、フェリスに在学しているうちに是非留学をしてみてください。かけがえのない出会いや経験が貴女の人生を大きく動かしてくれると思います！

2019年度 交換留学 留学報告書

国際交流学科 3年

留学先：台湾 輔仁大学

留学期間：2019年2月～2020年1月

留学中、意欲的に取り組んだことは二点ある。一点目に日本語学科の学生と言語交換をしたことである。日本語学科や夜間華語の授業以外にも中国語を勉強できる機会があればと思い、5月から学科の学生との言語交換を開始した。約半年間に渡る言語交換では、台日の文化や流行、お互いの趣味や疑問に思っていることなど様々な話題で交流をしてきた。週に一回二時間程度の言語交換であったが、一時間ごとに使う言語を交替しお互いが平等に学習できるようにしただけでなく、毎週違ったトピックを考えてきて言語交換をするといった工夫をした。また月に一回ほど学校の外に出て、一緒にお菓子作りをしたり公園に出かけたりもしたが、その中でも日常生活でお互いの知らない単語を教え合うなど、楽しみながら言語交換を行うことが出来た。結果的に非常に有意義な時間を過ごすことができ、この言語交換は中国語力向上の一助となった。言語交換のパートナーは、四月から東京の大学へ交換留学をしに来るので、日本にいても交流を続けていくことが出来ればと思う。

二点目に、大学内の管楽サークルに参加したことだ。参加するに至ったきっかけは、趣味である楽器演奏を通して多くの台湾の学生と交流を図ることが出来ればと思ったことであった。管楽団では週に二回練習があり、学期末の演奏会に向けて活動を続けてきた。最初は中国語での日常会話もままならないうえに、音楽用語等も理解できなかったのが苦労した。しかし団員の皆は温かく日本人の私を迎えてくれ、サークル活動は留学生活での大部分を占めるようになった。そして練習以外にも休日に遊びに行くなど、ネイティブと中国語で交流できる貴重な環境にもなった。一年間で三度の演奏会を経験することが出来ただけでなく、活動を通して沢山の台湾人の友達が出来たことは私の留学生活において最も貴重な経験となった。夜間華語の授業と練習の時間が被ったため両立するのは大変だと思ったこともあったが、学期末に披露した演奏会は何事にも代えがたい達成感で溢れ、一緒に活動させてくれた団員の皆と指揮者の先生には感謝の念に堪えない。

以上二点は、私の留学生活で最も意欲的に取り組んだことであり、最も印象深い出来事でもある。これらの経験は単なる「中国語学習」といった要素だけでなく、台湾人との交流から得ることができた成果である。留学生活の中で感じたこと、学んだことを今後の人生に活かしていきたい。